

西日本高速道路ソーシャルボンドの購入について(令和7年8月29日)

千代田区では、令和7年8月29日、基金の運用を通じてSDGsへの寄与、社会貢献につなげていくため、西日本高速道路株式会社が発行するソーシャルボンドを購入しました。

SDGs（持続的な開発目標）は、国連が提唱したよりよい社会の実現を図る世界共通の目標で、社会、経済、環境の面から17の目標が定められています。

SDGs債は、これらの目標の実現のためのプロジェクトに資金が活用されるもので、ソーシャルボンドは、社会的課題の解決を目標としています。

西日本高速道路ソーシャルボンドは、同社の高速道路の長期保全、修繕、災害復旧、新設、改築に資金を活用し、社会基盤の整備、災害対応力の強化、脱炭素社会の実現、交通安全、環境活動、地域貢献を目指します。

SDGsの目標では、「目標7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「目標9:産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11:住み続けられるまちづくりを」、「目標12:つくる責任つかう責任」、「目標15:陸の豊かさをももろう」、「目標17:パートナーシップで目標を達成しよう」の課題解決を目的としています。また、その目指す成果は、区の環境施策、災害対策、地域振興施策などの多くの事業との趣旨と合致します。

本債券は、国際資本市場協会(ICMA)の定めるソーシャルボンド原則に適合している旨の外部評価を格付投資情報センター(R&I)から取得しています。

西日本高速道路ソーシャルボンドの購入は、令和7年5月に続き、合計11回目となります。千代田区は、今後も西日本高速道路ソーシャルボンドをはじめ、SDGs債への投資で基金の一部が活用されることにより、SDGsの実現を目指していきます。